

県図なう。

平成30年10月15日 発行

第91号 (毎月15日発行)

<http://www.library.pref.kagoshima.jp>

Tel : 099-224-9511

鹿児島県立図書館の“今(ナウ)”をお知らせし、図書館と利用者をつなぐ情報紙です。

鹿児島県立図書館

ホットニュース

公共図書館や学校図書館の関係者を中心に、読書活動に関わる県民が一堂に会し、連携を深め、図書館が発揮すべき力について共に考えることを目的に、平成30年度鹿児島県図書館大会を以下の要領で開催します。

1 テーマ 図書館の可能性-図書館の役割の再認識から始めよう-

2 日時 平成30年11月14日(水) 午前10時~午後4時

※ この日は、県立図書館は休館いたします。

3 場所 かがしま県民交流センター 県民ホールほか

4 主な内容

(1) 表彰 (2) 基調提案 (3) 分科会

「読書センター」・「利用者に対応したサービス」部会、「学習センター」・「多様な学習機会の提供」部会、「情報センター」・「情報サービス・広報活動等」部会、親子読書部会、ボランティア活動部会

(4) 講演

演題 「図書館のあらたな可能性について」-公共図書館、学校図書館のこれからの即して-

講師 昭和女子大学 名誉教授 大串 夏身 氏



【昨年度の分科会の様子】



【昨年度の講演の様子】

図書館で探そう、調べよう!

先日、「薩藩勝景百図」に関する図書についてお問合せがあり、『日本近世生活絵引 南九州編』（『日本近世生活絵引』南九州編編纂協同研究班/編）、『はるかなり江戸・鹿児島の旅』（鹿児島県歴史資料センター黎明館/編）、『奇跡の至宝「島津家文書」』（鹿児島県歴史資料センター黎明館/編）等を御紹介しました。「薩藩勝景百図」は、『日本近世生活絵引 南九州編』によると、18世紀末から全国的に行われていた地誌の編纂に対応し、1815（文化12）年に島津重豪の命により編纂された薩摩藩の地誌で、当時流行していた各所図会の形式に準じて作成されており、全部で102の景からなると書かれています。また、解説書『薩藩勝景百図考』とともに、将軍徳川家斉に献上され、現在は、国宝「島津家文書」の一部として東京大学史料編纂所に所蔵されているそうです。

当館2階の郷土資料コーナーにも、鹿児島県の地誌等に関する本がありますので、興味のある方は是非御活用ください。

読書図書案内

《一般書》10月12日(金)

- 『本の虫の本』林哲夫/他著 創元社
- 『九州の戦争遺跡』江浜明德/著 海鳥社
- 『身につく料理』星澤幸子/著 KADOKAWA
- 『日本懐かし駅舎大全』二村高史/著 辰巳出版
- 『大人のにほんご事典』齋藤孝/著 海竜社

《児童書》10月23日(火)

- 『わたしの森に』アーサー・ピナード/文 くもん出版
- 『ぶどう畑で見る夢は』小手鞠い/著 原書房
- 『地球は人間だけのものじゃない』やまもとよしあき/著 青山ライフ出版
- 『わたしが少女型ロボットだったころ』石川宏千花/著 偕成社
- 『泥』ルイス・サッカー/作 千葉茂樹/訳 小学館

催し物の御案内

- 企画展示 8月1日(水)～10月18日(木)
「貴重資料紹介展 明治維新150周年 I-維新の立役者を生んだ街並みと教育-」
- 一般閲覧室ミニ展示 10月19日(金)～12月16日(日)
「ふるさと文学交流」展
ふるさと知事ネットワークに参加する各県の代表的作家たちのパネルの紹介と関連する図書の展示
- 児童文化室ミニ展示
9月23日(日)～10月21日(日)
「おいしいものがいっぱい！」
食べ物が出てくる絵本や食に関する本の紹介
10月23日(火)～11月25日(日)
「マンガの世界を楽しもう」
手塚治虫の生誕90周年に合わせ、手塚治虫や漫画に関する本の紹介
問合せ先：奉仕課企画指導係 Tel.099-224-9514

図書館職員のつぶやき

児童文化室で小さな子どもに読み聞かせをしている姿をよく見かけます。読み聞かせをしているのは、お父さんであったり、お母さんであったり、おじいちゃん、おばあちゃんであったり。側から見ていても笑顔になってしまいます。時には、小さなお子さんがおうちの方に読んでいる姿も見かけます。読み聞かせをしてもらっている子どもたちは、食い入るような表情で絵本を見ているのでしょう。また、読んでもらった本の中には、大人になっても忘れられない大切な一冊「宝物のような本、宝本」になるものも出てくることでしょう。そんな「宝本」にまつわるエピソードの企画展を10月26日(金)から開催します。是非、実際の本と一緒にエピソードも御覧になってください。読んだことのある本に出会ったら、その時の自分を思い出すかもしれませんね。

県立図書館に届いた『宝本エピソード』

今回の宝本は、オトフリート=プロイスラー/作 中村 浩三/訳の『大どろぼうホッツェンプロッツ』（偕成社）です。

「大どろぼう」と聞いたとき、とてもわくわくしませんか。母の薦めで読んでみたところ、ページをめくる手が止まりませんでした。大人でも子どもでも楽しめる本で、母と一緒に読みました。絵がとても個性的で、見ても楽しく、そこまで長くもない、読みやすい本です。作者は外国人なので、読んでいて、文化の違いも面白いと感じました。また、いろいろな発想で、予想がつかない展開です。この本を読んで、人と関わる素晴らしさ、様々な方向からの発想力を学びました。母と私だけでなく、家族ぐるみで大好きな本です。



図書館クイズ

『おさるとぼうしうり』（エズフィール・スルボドキーナ/さく・え 福音館書店）

ぼうしうりのおじさんは、ねむっているうちに、あたまにのせていた、たくさんのぼうしを、おさるたちにとられてしまいます。

ひとつだけのこっていたぼうしはどんなぼうしだったかな？

- ①こうしじま ②ねずみいろ ③そらいろ

ヒント

たてとよこのせんでできているよ

答え、自分の名前、利用者カード番号を書いて、児童文化室にある箱に、11月13日(火)までに入れてください。正解者のなかから抽選で20人にしおりなどのプレゼントを差し上げます。

前回の答えは「②かめ」でした。たくさんの御応募ありがとうございました。

図書館カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
10月	14	15	16	17★	18	19	20
	21	22	23	24★	25	26	27
	28	29	30	31★			
11月					1	2	3
	4	5	6	7★	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17◆

○ 開館時間 火曜日～土曜日：9時～21時

※ 児童文化室は19時まで

日曜日・祝日(白抜)：9時～17時

■ は、休館日。10月25日は、学習室のみ開室。

★ は、おはなしのじかん(毎週水曜日 15時30分～16時)。

◆ は、土曜版おはなしのじかん(第3土曜日 14時～)。

◇ は、一般閲覧室新着図書の日(10月31日、11月9日【予定】)。

□ は、児童文化室新着図書の日(10月23日)。